

## 平成28年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査  
 調査媒体：水質(ng/L)  
 地方公共団体：大阪市  
 調査地点：大阪港

調査対象物質	測定値(評価値)	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[2] 2-イミダゾリジンチオン (別名:2-メルカプトイミダゾリン)	nd	12	18
[3-1] 1,3,5(10)エストラトリエン-3-オール-17-オン (別名:エストロン)	0.21	0.046	0.046
[3-2] エストロン-3-硫酸	0.6	0.068	0.068
[3-3] エストロン-3-グルクロニド	nd	0.50	0.50
[6] [o-(2,6-ジクロロアニリノ)フェニル]酢酸 (別名:ジクロフェナク)	8.4	0.12	0.17
[7] (1 <i>S</i> ,4 <i>S</i> )-4-(3,4-ジクロロフェニル)- <i>N</i> -メチル-1,2,3,4-テトラヒドロナフタレン-1-アミン (別名:セルトラリン)	0.39	0.17	0.44
[8] 5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジンジオン (別名:フェントイン)	nd	1.7	2.1
[9] ジフェニルジスルファン (別名:ジフェニルジスルフィド)	nd	0.37	0.57
[14] ヘキサメチレンジアミン	nd	4.3	4.3
[15] (3 <i>S</i> ,4 <i>R</i> )-3-[(2 <i>H</i> -1,3-ベンゾジオキシル-5-イルオキシ)メチル]-4-(4-フルオロフェニル)ピペリジン (別名:パロキセチン)	nd	0.28	0.65

(注) nd：不検出